

|              |                    |            |      |
|--------------|--------------------|------------|------|
| <b>授業科目名</b> | C Gの基礎と演習(2000075) |            |      |
| <b>時間割名</b>  | C Gの基礎と演習(24204)   |            |      |
| <b>時間割担当</b> | 大場六夫               |            |      |
| <b>実施期</b>   | 後期                 | <b>単位数</b> | 2 選択 |
| <b>曜日・時限</b> | 火・4                |            |      |

### 授業の目標・概要

現代のデジタルメディア情報社会では、デジタル映像、3次元CGコンピュータグラフィックス、当該演習ではこれらのデジタル映像、3次元CGコンピュータグラフィックス、グラフィックデザインの情報処理技術を活用した表現プロセスの基礎を学習する。デジタル画像処理に必要な技術はグラフィックアプリケーション、3DCGアプリケーションも技術などを実習形式で習得し、その技術を応用し、マルチメディア作品制作をする。様々な場面での情報発信を行える技術の習得を念頭に、より円滑なコミュニケーションや情報発信を意図したCG表現技法を学ぶ。

演習（講義16時間、演習14時間）

### 学習の到達目標

Adobe Photoshop、Adobe Illustratorのアプリケーションの技術習得。  
そのアプリケーションを使用し、デザインの基礎からアート作品を創作する。  
CG、デジタルデザインをあらゆる可能性を学ぶ。それは領域を感じさせない美的表現。  
それを学ぶことにより自らの個性を拡張させたり感性を磨ける。  
その結果、美的センスのある生活が送れる。また指導もできる。  
身の回りにある装飾されたものが自分の技術で演出から創作までできるようになる。

### 授業方法・形式

CG実習室にてワークステーションPCを利用し、演習形式で作業を行います。Adobe Photoshop、Adobe Illustrator複雑な情報系の画像処理グラフィックアプリケーションや、操作方法を授業内で習得する必要があります。  
各テーマにおいて課題を果たします。演習で習得した画像処理技術を応用し、与えられた課題の制作を行います。（課題が完成しない場合は放課後等にCG実習室での制作が必要となります）最終回に講評会を行います。

### 授業計画

- 第1回：ガイダンス、美的・視覚的なデザインにおける基本的な表現技法を紹介し、美しいデザイン等の理論について学ぶ。
- 第2回：デザイン：Adobe Illustratorの基本的な操作、技術を学ぶ。
- 第3回：デザイン：Adobe Illustratorを使用し、課題を制作しながらデザイン的な平面構成や色彩構成を習得する。
- 第4回：デザイン：Adobe Illustratorを使用し、イメージ（美しいデザイン）を制作。
- 第5回：デザイン：Adobe Illustratorを使用し、イメージ作りの応用。
- 第6回：デザイン：Adobe Photoshopの基本的な操作、技術、知識について学ぶ。
- 第7回：デザイン：Adobe Photoshopを使用し、実際に課題を制作しながらデザインのレイアウトや効果的な見せ方を習得する。
- 第8回：デザイン：Adobe Photoshopを使用し、美しい画像表現。
- 第9回：デザイン：Adobe Photoshopを使用し、美しい画像表現の応用。
- 第10回：素材を創る：Illustrator・Photoshopを使い素材の制作。
- 第11回：色彩：Illustratorで色彩を学ぶ。
- 第12回：イラスト画作成：Illustratorでイラスト作成。
- 第13回：フォトモンタージュ：Photoshopで画像演出・加工。
- 第14回：美的デザインを創る：Illustrator・Photoshopを使い美的デザインの制作。
- 第15回：美的デザインを創る：Illustrator・Photoshopを使い美的デザインの制作。講評

### 成績評価の基準

平常点50% 作品評価50%

### 準備学習・復習及び授業時間外の課題

美しいデザインを街中で収集します。

### 履修上のアドバイス及び留意点

Illustrator・Photoshopで美しいレイアウトから見やすいデザイン作成を学ぶことでデザインの基礎を習得でき、それができるとして社会に出た時に活用できます。

### 教材・教科書

「デザインの学校 これからはじめるIllustrator&Photoshopの本」黒野 明子（著）

### 参考書

矢野りん著「デザインする技術 よりよいデザインのための基礎知識」,MdN